



一つの言葉を大切にした人とのかわりを

校長 永山 誉

真夏のような日差しの中、芝川小学校の校庭をお借りして実施しました運動会には、たくさんの地域の方々や保護者の方々にお越しいただき、誠にありがとうございました。子どもたち一人ひとりが自分の力を発揮して輝き、日頃の活動の成果を御覧いただけたのではないのでしょうか。芝川小学校をお借りして行った2回目の運動会は、昨年度の反省点を検討・改善しながら実施しましたが、強い陽射しから子どもたちを守るための方法や保護者の皆様に御覧いただくためのスペースの確保等、さらなる改善も必要と考えています。本校の老朽化した校舎の改築等、リフレッシュ工事が行われるまでのしばらくの期間、芝川小学校をお借りしての運動会を実施することとなりますので、運動会の円滑な実施に向けて更なる改善を図ってまいりたいと思います。今後の運動会の実施にあたりまして、地域の皆様や保護者の皆様には、御不便をおかけすることもあります。何卒御理解の程、お願い申し上げます。

さて、新年度がスタートして2か月が経ちました。子どもたちは各クラスの中で自分らしさを発揮しながら、友達とのかわりもこれまで以上に多くなってきています。友達とどのようにコミュニケーションをとっていけばよいのか。言葉の大切さにつきましては、これまでもお伝えしてきましたが、様々な方が好きな言葉として引用しています「一つの言葉」の詩は、短い中にもわかりやすくその大切さについて伝えていきますので、ここに紹介します。

「一つの言葉」
(作者不詳)

一つの言葉でけんかして
一つの言葉で仲直り
一つの言葉で頭が下がり
一つの言葉で心が痛む
一つの言葉で楽しく笑い
一つの言葉で泣かされる
一つの言葉はそれぞれに
一つの心をもっている
きれいな言葉はきれいな心
優しい言葉は優しい心
一つの言葉を大切に
一つの言葉を美しく

6月は、いじめの認知件数が増加してくる時期ともいわれていることから、さいたま市では、全市的に6月を「いじめ撲滅強化月間」とし、各校においてそれぞれの学校の実情に応じた取組を実施しています。言葉の軽さが、いじめをはじめとする様々な社会問題となっている現在。本校では、令和8年度「さいたま市立大宮南小学校いじめ防止基本方針」(全文はホームページで公開中)に基づき、今年度も友達の心を思いやりながら、一つの言葉がどのような力を持っているか考え、そして一つの言葉を大切に、人とのコミュニケーションを意識させたいと考えています。

【いじめ防止に向けた今年度の本校の取組】

- (1) 「ストップいじめ」啓発用ポスターを活用した、学級スローガンづくり
- (2) 児童会による、いじめ防止を目指したキャンペーンの展開
- (3) 校長によるいじめ防止に関する講話(6月の講話朝会)
- (4) いじめの未然防止に向けた学級担任等による指導
- (5) 家庭や地域への広報活動による周知(学校だより6月号にて実施)
- (6) 「いじめに関するアンケート」等の実施(今年度から1・2年生を含む、全学年で実施)